

北向不祥事続く岸田政権

自民党最大派閥の会長だった細田博之衆院議長は、「週刊文春」の報道で女性記者へのセクハラ疑惑が浮上。自身の選挙で選挙区内の地方議員らに労務費として資金を提供した賃収疑惑も報じられています。

6年から19年までの4年間、前夜祭と自社の商品を提供したと認めています。安倍氏の後援金は政治資金規正法で企業・団体から献金を受けることができず、違法な企業献金にあたると告発されています。

岸田政権下で有罪判決を受けた元国会議員も複数います。安倍政権で農林水産相を務めた吉川貴盛・元自民党衆院議員が鶏卵業者から計500万円の現金を受け取った収賄事件では、懲役2年6月(執行猶予4年)の有罪判決が確定しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で収入が減った事業者への融資を違法に仲介した元財務副大臣の遠山清彦は、元公明党衆院議員(執行猶予3年)の有罪判決が確定しました。

疑惑解明に

岸田文雄政権で問われた政治家の疑惑

安倍晋三元首相	「桜を見る会」前夜祭でサントリーから酒類の無償提供を受けたと発覚
吉川貴盛・元農林水産相	鶏卵業者から現金受領で収賄罪が確定
遠山清彦・元公明党衆院議員	新型コロナ対策特別融資の仲介で資金業法違反罪が確定
山際大志郎・経済再生担当相	政治資金パーティーで会場収容人数を超えるパーティー券販売分を寄付として記載しなかった疑い
細田博之衆院議長	女性記者へのセクハラ疑惑と自身の選挙での運動員買収の疑い
林芳正外相	山口県庁内で県幹部らが後援会への入会を勧誘
二之湯智国家公安委員長	自民党京都府連をめぐる「マネーロンダリング」疑惑
吉川赳衆院議員(自民党離党)	未成年者との飲酒疑惑

安倍・菅政権で相次いだ「政治ど天然」の事件を受け、「信頼と共感を得られる政治」を掲げた岸田文雄政権。ただ、発足から1年をたたずに新たな疑惑や政治家の資質が問われる不祥事が相次ぎ、参院選でも政権の政治倫理が問われています。(伊田智之)

安倍晋三元首相の後援会が主催した「桜を見る会」前夜祭では、サントリーが大量の酒類を無償提供していたことが「じんぶん赤旗」日曜版の報道で発覚しました。サントリーは2011

年に乘じて不正に利益を得たとして懲役2年(執行猶予3年)の有罪判決が確定しました。いずれも国民の政治不信を招きかねない重大な問題ですが、岸田首相は国会で責任をいまいにする答弁を繰り返しています。これが、真相解明に背を向けています。こうした政権の姿勢も参院選で厳しく問われます。